香寺図書通信



米が実る頃に鳥の害を防ぐために、田んぼに立てられるかかし。昔、かかしは神様とみなされ、『古事記』には物知りの神様としての逸話も載っています。今も、米の収穫後に田んぼから別の場所に移し、かかしの労をねぎらう行事がある地域もあります。



図書委員のおすすめ

※文末の記号【913】は請求記号です。

請求記号と本棚の表示を見て本のある場所を探してください。



『かがみの孤城』

辻村 深月

学校で居場所をなくし、閉じこもっていた | 人の少女の部屋の鏡がある日突然光始めた。中に入ると年齢も生きている時代も違う 7 人が集められ | つの鍵を探すことになり…。たくさんの伏線が散りばめられた物語は読んでいくうちに謎が深まっていきます。そして最後に全ての伏線が回収されるととてもすっきりします。【913-ツ-】 | 年4組 高坂 美咲



『5 分後に意外な結末』

学研教育出版

読書好きの人なら、小・中学校の図書室で一度は読んだことがあるのではないでしょうか。僕がこの本をおすすめするのはタイトルにもあるとおり、話の始めからは予想も出来ないような結末が待っていて、読んでいて楽しいからです。このシリーズは短編集になっていて、短い話がたくさんあり、気軽に読める点も魅力的です。





読書感想文地区審査会出品

第 67 回青少年読書感想文全国コンクール出品作品決定!!! たくさんのご応募ありがとうございました。結果をお楽しみに!

|年|組 青田 果奈 『こんな夜更けにバナナかよ』渡辺一史 文藝春秋

I 年 3 組 内山 響妃 『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』汐見夏衛 スターツ出版

| 1年4組 | 北野 芽生 『世界からボクが消えたなら』涌井学 小学館

Ⅰ年5組 稲垣 直仁 『あと少し もう少し』瀬尾まいこ 新潮社